

## 川崎市民のスポーツに関する消費傾向

総務省家計調査

「スポーツ月謝（1世帯あたり年間支出金額）」  
上位10位ランキング

2000年～2002年

2012年～2014年

1	浦和市(さいたま)	18,950
2	大津市	15,703
3	東京都区部	15,054
4	奈良市	15,007
5	山形市	14,524
6	新潟市	13,853
7	京都市	13,760
8	横浜市	13,641
9	熊本市	13,222
10	千葉市	13,084
11	川崎市	13,068

1	川崎市	18,586
2	東京都区部	16,978
3	浜松市	16,861
4	さいたま市	16,211
5	宇都宮市	15,814
6	大津市	15,553
7	横浜市	15,496
8	堺市	15,451
9	奈良市	14,814
10	静岡市	14,692

単位：円

出典：総務省家計調査（都道府県県庁所在地及び政令指定都市）

総務省家計調査によると、川崎市民のスポーツ月謝（スポーツクラブ利用料等）への支出は、2000年～2002年は11位だったが、2012年～2014年では全国1位に上昇している。

## 総合型地域スポーツクラブ

川崎市内の総合型地域スポーツクラブ（市内10クラブ）

	クラブ名	設立
川崎区	川中島中学校区総合型地域スポーツクラブ	平成24年3月
幸区	幸総合型地域スポーツクラブ・PLUM	平成21年2月
中原区	平間スポーツレクリエーションクラブ	平成14年12月
	かわさきスポーツドリーマーズ(K.S.D.)	平成23年3月
	中原元気クラブ	平成25年4月
高津区	高津総合型地域スポーツクラブ(SELF)	平成18年2月
宮前区	菅生スポーツ・コミュニティ・クラブ	平成24年2月
	ファンズスポーツクラブ宮前	平成26年11月
多摩区	中野島総合型地域スポーツクラブビルネ	平成20年2月
麻生区	わ・わ・わ・クラブ	平成18年2月

### 総合型地域スポーツクラブとは・・・

平成7年度に文部科学省が提唱し、地域の人々に年齢、興味・関心、技術・技能レベル等に応じたさまざまなスポーツ機会を提供する、多様目、多世代、多志向のスポーツクラブ。同じ地域の住民が会員となって自主的に運営する地域のスポーツクラブで、ボランティア精神と会費制による自主運営が基本となっている。スポーツだけでなく社会・文化活動も含めて、地域のコミュニティ活性化につながるクラブを理想としている。

